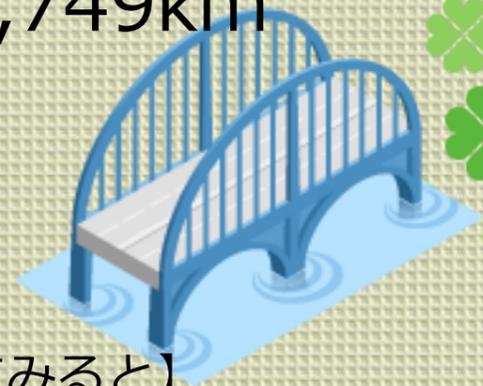
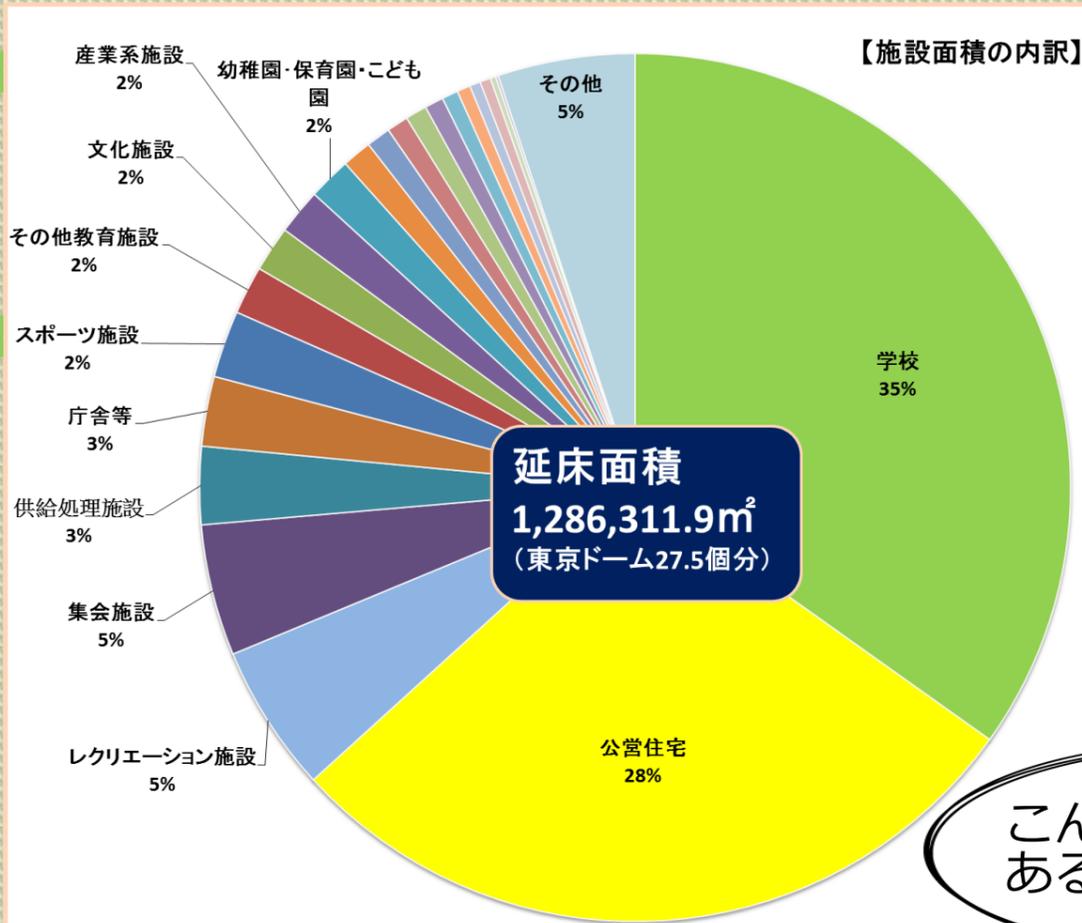


前橋市の公共施設

建物の延床面積 約 128 万 m^2

建物以外にも

道路 3,948km
 橋りょう 1,300 本
 上水道 2,510km
 下水道 1,749km



【くらべてみると】
 北海道から沖縄までの距離
 = 約 2,500km

こんなにたくさん
 あるんだころ〜。



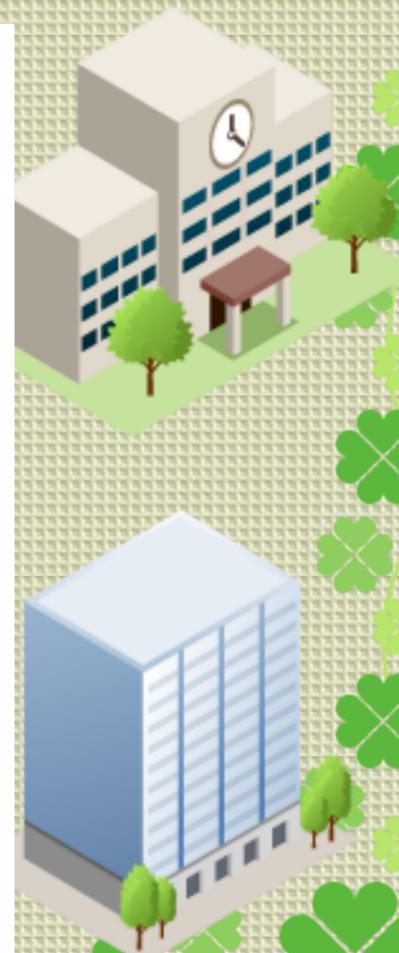
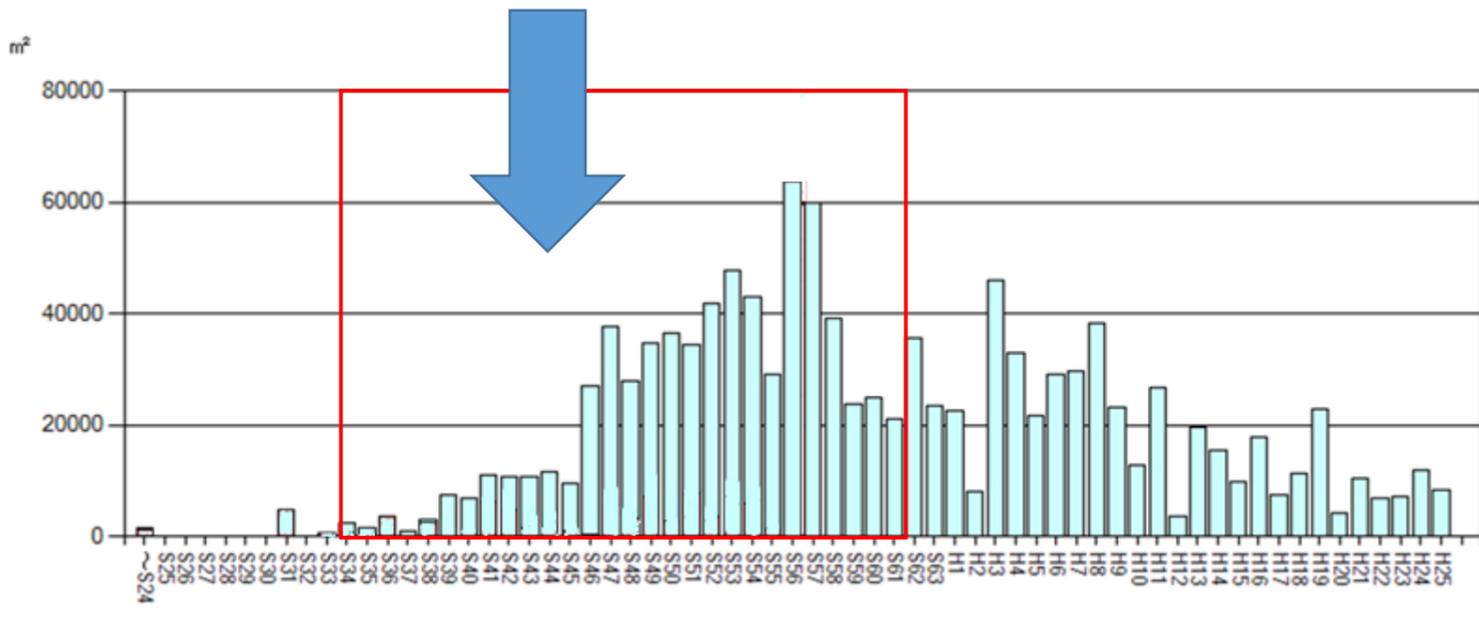
【くらべてみると】
 1 辺 1km の正方形の面積 = 1 0 0 万 m^2

公共施設の更新問題

高度成長期以降に集中して建設した建物等の老朽化が進み、今後一斉に更新時期を迎える

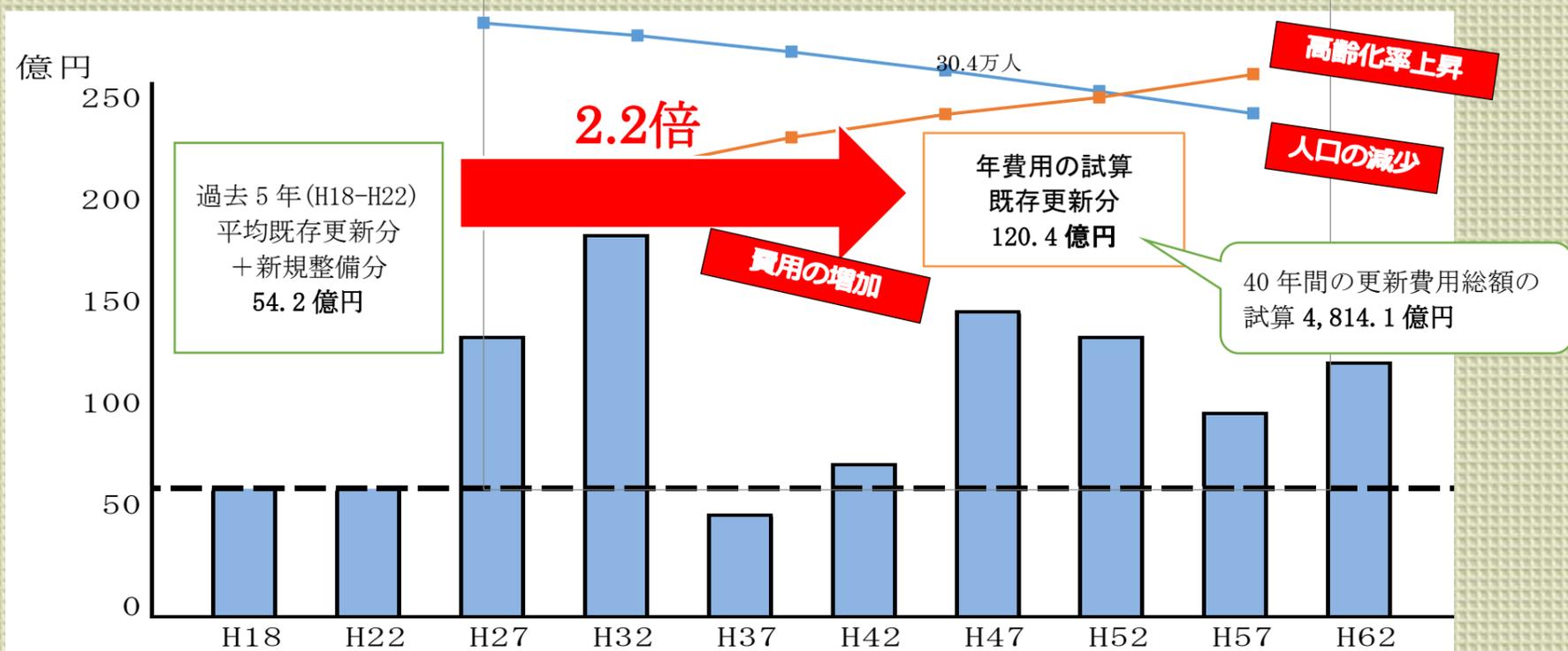
年度別公共施設建築状況

市有施設の半分以上が築 30 年以上経過している



問題のポイント

今までは 老朽化した施設は更新（建替え）という手法をとることが多かったが・・・



⇒費用の問題から、単純に老朽化したものは建替えするという管理方法が困難に

適正な管理の必要性

老朽化により物理的崩壊のリスクは上昇する

【公共施設の事故事例】

H 2 4 . 1 2 笹子トンネル
天井板崩落事故
山梨県大月市・築 3 7 年



H 2 5 . 2 第一弁天橋事故
静岡県浜松市・築 4 8 年



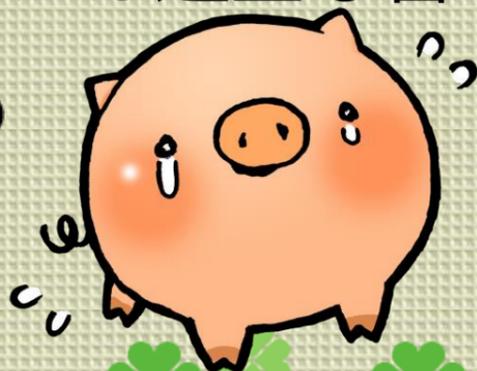
H 2 8 . 9 海老名市庁舎外
装材落下・築 2 8 年



出典：神奈川新聞社

⇒老朽化による事故を防ぐためには適正な管理が不可欠

費用の問題と安全。
どちらも大切ころ。
いったいどうしたらいいころ??



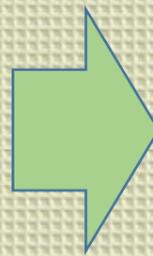
これからのために

質・量・コストの最適化

【量】 適正な施設数

【質】 安全・快適・便利

【コスト】 費用の節約



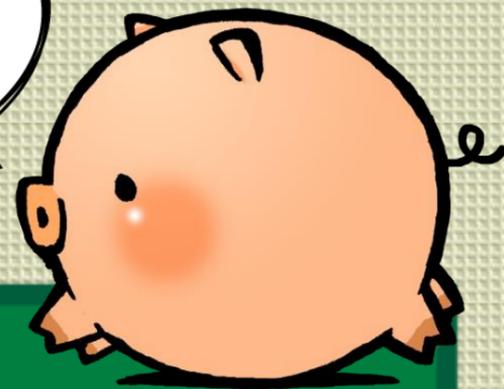
長寿命化

保有総量
の縮減

効率的
利活用

前橋市の取組み

前橋市では具体的に
こんな取組みを
はじめています
ところ。



計画の策定

前橋市公共施設等総合管理計画

前橋市市有施設予防保全計画

前橋市橋梁長寿命化修繕計画

前橋市水道・下水道ビジョン

市有地の売却

使わなくなった市有地の売却処分
平成27年度売却収入2.9億円

市有施設の点検

市有施設の適正な管理・計画的な
修繕を実施するため、日常の施設
点検をマニュアル化

学校跡地の利活用

閉校になった嶺小学校を民間事業者
に有償で貸付。
英語村「イングリッシュビレッジ
MAEBASHI」として平成28年
10月中旬からプレオープン